

結果の概要

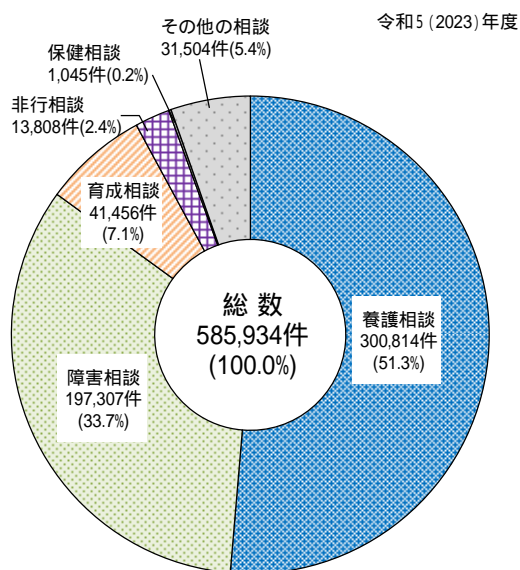
児童福祉関係

1 児童相談所における相談の種類別対応件数

令和5年度中の児童相談所における相談の対応件数は585,934件となっている。

相談の種類別にみると、「養護相談」が300,814件（構成割合51.3%）と最も多く、次いで「障害相談」が197,307件（同33.7%）、「育成相談」が41,456件（同7.1%）となっている。（図1）

図1 児童相談所における相談の種類別対応件数



2 児童相談所における児童虐待相談の対応件数

令和5年度中に児童相談所が対応した養護相談のうち児童虐待相談の対応件数は225,509件で、前年度に比べ10,666件（5.0%）増加している。

相談の種類別にみると、「心理的虐待」が134,948件（構成割合59.8%）と最も多く、次いで「身体的虐待」が51,623件（同22.9%）となっている。

被虐待者の年齢別にみると、「3歳」が14,423件と最も多くなっており、「身体的虐待」の構成割合は、年齢が上がるにつれておおむね多くなっている。（表1、図2）

また、主な虐待者別構成割合をみると「実母」が48.7%と最も多く、次いで「実父」が42.3%となっており、前年度と同様の傾向となっている（図3）。

表1 児童虐待相談の相談種別件数の対前年度比較

（単位：件）

	令和5年度 (2023)		4年度 ('22)		対前年度	
	件数	構成割合 (%)	件数	構成割合 (%)	増減数	増減率 (%)
総数	225,509	100.0	214,843	100.0	10,666	5.0
心理的虐待	134,948	59.8	128,114	59.6	6,834	5.3
身体的虐待	51,623	22.9	49,464	23.0	2,159	4.4
保護の怠慢・拒否(ネグレクト)	36,465	16.2	34,872	16.2	1,593	4.6
性的虐待	2,473	1.1	2,393	1.1	80	3.3

図2 児童虐待相談の年齢別・相談種別構成割合

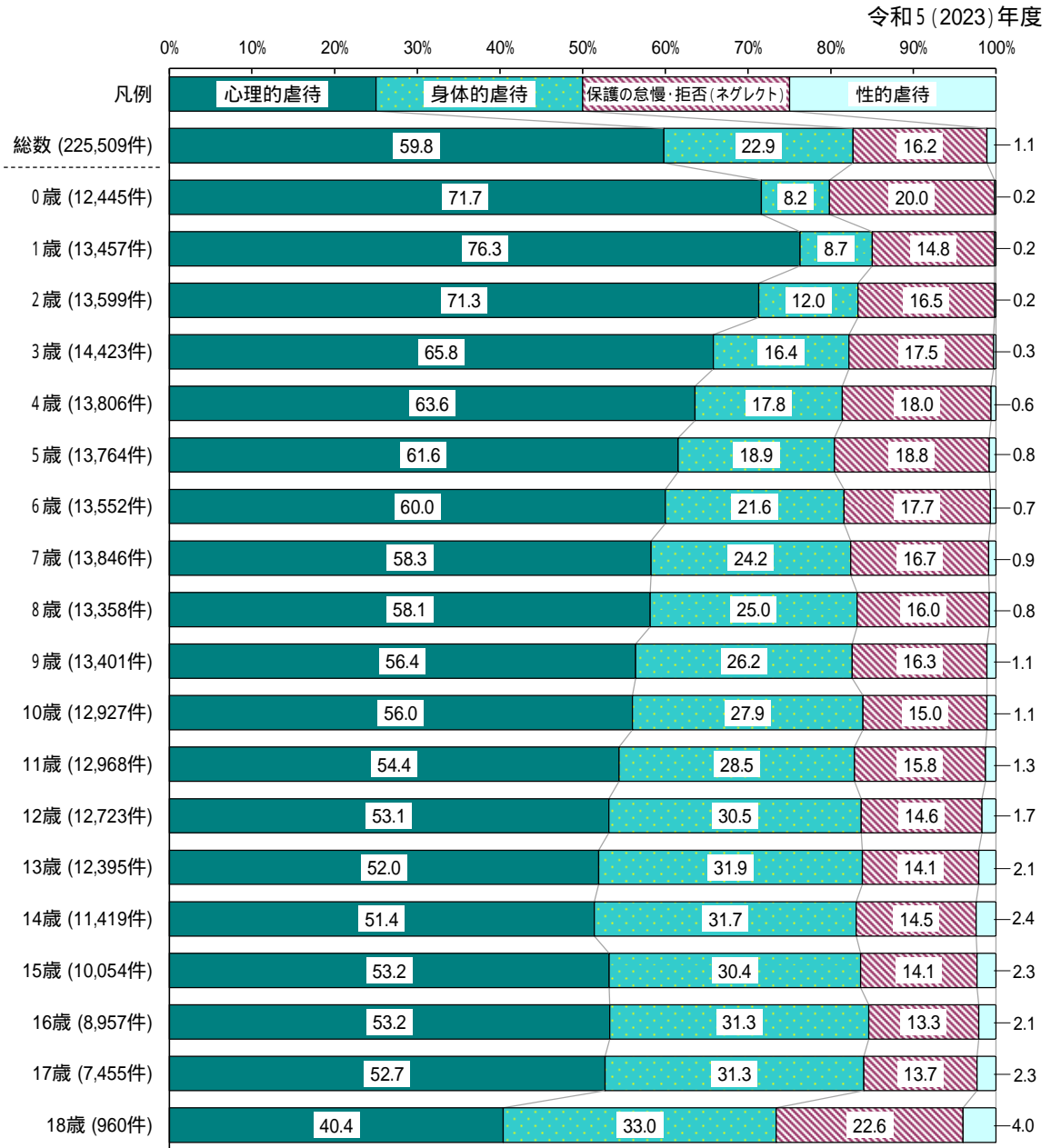


図3 児童虐待相談の主な虐待者別構成割合の対前年度比較

